



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2004.09.14 No. 27 - 118

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274

IFSP(In-Flight Security Personnel)は

PICの指揮下に - ガイダンス作成

2004年5月 オランダ・アムステルダム IFALPA SEC 委員会報告

2004年5月3-4日、オランダ ALPA(VNV)事務所会場(アムステルダム)にて、18カ国30名のメンバーと、ICAO、ECA、IATA などからの OBS5名の参加により開催された。委員会では、ハイジャック事例(アリタリア航空で2002年11月発生)、MANPADS(携帯ミサイル)対策、Captains Authority(機長権限)に関する Presentation が行われた。討議は、主として IFSP(In-Flight Security Personnel=Sky Marshal)のガイダンスについて IFALPA としての意見を求める作業となった。

AZ MD80 ハイジャック事件(2002年11月発生)

当該機は、ボローニャ(BLQ)からパリ(CDG)間のスイス上空で発生した。犯人は、爆弾所持として脅迫を行い、政治的理由からリヨンへの着陸を要求した。当該機は、強化型の操縦室ドア装備機ではなかった。

ATCは、リヨンの北25KMにあるグルノーブル(軍施設もあり市街地から隔離されている)への誘導を支持するために当該機に Holding を支持した。この間に、PICとATCのあいだに状況認識の違いがあった。PICは、Emergency を Declare したことから、ATCは、Emergency Declare ならリヨンへの APP への Clearance を出すことになった。着陸後、乗客乗員が無事に解放され、犯人は、仏警察に逮捕された。

今後の課題: Mental disorder(精神障害)による Unruly Passenger 対策、乗員の訓練 社会環境の整備など。

MANPADS

LAIRCM(機上装備ミサイル対策装置)が取りざたされているが、軍用機にはせ腕の装備されているものの、市街地に近い空港近辺では、方向を失ったミサイルによる地上被害の問題性が残る。また、費用対効果の問題では、一機あたり3-5億ドルが見込まれ、民間機への装備では、膨大な予算が必要となる。(因みに、イラク派遣の JASDF C130(イラク派遣機)には装備されている。)

今後の対策としては、情報収集、国レベルの危機対策、周辺地域の監視、パトロール、捜索などが必対策として有効であるが、いずれも政府レベルの対応となる。運航上の対策では、CCTVの設置、RWYの変更、PWR減などが討議されている。

IFALPAでは、Policyを作成したが、具合的な取り組みは今後の課題となっている。IATAでも、MANPADS対策を協議。ICAOでは、AVSECでも討議チームにより協議中。

一部の政府では、すでに具体策を講じているが、英国は、各空港に危険地域を指定し、SID STARは、noiseを考慮しながら設定、警備強化による対応など、MANPADS対策を実施している。

IFSP(In-Flight Security Personnel =Sky Marshals)

欧州では、ECACにて今後のIFSPに関する基準などを設定する取り組みが予定されており、IFALPAとしては、乗員の立場からIFSPのガイダンスとして提言文書を作成した。



< ガイダンス内容 >

IFSP の法的要件。 IFSP の必要要件。 IFSP と乗員との連携方法、指揮系統など。
IFSP と乗員の訓練項目など。 (注) 詳細については、日乗連で Policy 化作業中。

各国の IFSP と CCTV の配備状況

IFSP は、9 1 1 以降、IFSP を新たに配備する政府がでており、最新の状況を報告によりまとめた。CCTV については、これまでに装備、運営しているところは、フランスだけ(スイスは一部)となっている。英国は、装備は決定しているが、これまでのところ未装備となっている。

フランス: IFSP 採用 CCTV は全機装備

英: IFSP 一部採用 CCTV spec の検証が終了しており、装備予定。手錠の配備では、配備後から 14 件の使用が経験されている。一方、7 個が missing している。配備は、4 個/747。

イスラエル: 全機に IFSP CCTV はなし しかし 2 doors を装備。

レバノン: no IFSP no CCTV

トルコ: no CCTV no IFSP

ポーランド: no CCTV no IFSP

SAS: no CCTV (not planned) no IFSP A340 (long range flight) with CCTV IFSP 要求はキャンセル

デンマーク: no CCTV no IFSP

ノルウェー: no CCTV no IFSP

加: CCTV は計画中 APO (aircraft protecting officer)

米: IFSP no CCTV MANPADS について議論を重ねている

伊: no CCTV no IFSP

スペイン: no CCTV no IFSP 爆発事件以降の対応 乗員は screening なしに航空機に入る

独: IFSP 配備 no CCTV

スイス: IFSP 要求に応じて CCTV は一部

オーストリア: IFSP 配備 CCTV 装備

蘭: no CCTV (planned) no IFSP (協議中)